

1 基礎分野

授業科目名	論理学	第一看護学科 2年次 前期 1単位（15時間）
-------	-----	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい	論理的思考について理解し、表現力を高めることができる。また、適切な文章表現を学ぶ。
目 標	1) 文章作成の基本的な作法や用途に応じた文章の作成方法を理解できる。 2) 文章表現を通して、自分の意見を根拠や事実に基づきわかりやすい表現で相手に伝える方法を理解できる。 3) 他者の文章を読み、書き手の意見や主張を読み解き、読みやすさや適切な言葉の使い方を考えることができる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	理由と結論の関係を読み取る	講義・演習	
2	パラグラフライティングの概要、話題のまとまりを読み取る		
3	文章の要点を意識する		
4	要点に説得力を与える理由付けを意識する		
5	文章の概要を下書きし、段落構成を考える		
6	総論(文章全体の概要)を書く		
7	引用の役割と出典表記方法		
8	まとめ		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 情報科学	第一看護学科 1年次 前期 2単位 (30時間)
------------	--------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい

社会や人間における情報を、科学的に処理する方法を学び、情報通信技術(ICT)を活用するための基礎を学ぶ。演習を通して、データの収集、整理、分析の方法を学ぶ。その際、「情報」に関する基礎的な知識、「情報」を取り扱う上で必要とされる情報倫理や患者の権利について理解する。

目標

- 1) 情報の定義と特徴を学び、社会における情報の有用性と情報伝達のための手段である情報通信技術(ICT)の活用について理解できる。
- 2) 保健医療における情報の種類や活用と情報倫理や患者の権利について理解できる。
- 3) 既存の情報の検索や文字情報や数値などのデータの収集、整理、分析方法を学び、情報通信技術(ICT)を用いて効果的に他者に伝達する方法を理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	ガイダンス、看護情報学、情報処理基礎(1)	講義・演習	
2	情報処理基礎(2)		
3	情報セキュリティ		
4	情報セキュリティ、知的財産権、情報倫理		
5	統計とは、厚生統計の基礎知識		
6	パソコンの基本操作、Wordの概要、ビジネス文書とは、ビジネス文書の作成		
7	ビジネス文書の作成、段組の設定		
8	表現力をアップする機能、テンプレート		
9	Excelの概要・基本操作、表作成(文字・数・関数入力)		
10	グラフ作成、データベース機能、		
11	分析ツール		
12	ピボットテーブル、複数シートの操作		
13	プレゼンテーションとは、Power Pointの概要		
14	スライドの作成		
15	Web検索、まとめ		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

※USBフラッシュメモリを各自で準備する

参考文献: 大木秀一「看護統計学入門」医歯薬出版

日本医療情報学会「新版 医学情報学第5版 医療情報システム編、情報処理技術編、医学・医療編」篠原出版新社
太田勝正、前田樹海「エッセンシャル 看護情報学第2版」医歯薬出版
一般財団法人 厚生労働統計協会「厚生統計テキストブック」一般財団法人厚生労働統計協会

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物、出席状況 等

授業科目名 倫理学	第一看護学科 3年次 前期 1単位（30時間）
-----------	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい
人間が人間らしく生きる意味とあり方について、生命倫理や職業倫理の学習を通して学ぶ。
目 標
1) 人間が社会生活を営む上で大切にしている道徳的価値とそうでない価値に含まれるものを知り、個人の価値観の違いや価値観の形成に影響する背景を理解できる。
2) 倫理を考えるうえで道徳的思考や法との違いを学び、人としてのあり方や態度、行為について考えることができる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	倫理という言葉	講義・演習	
2	倫理的に「正しい」行為とは何か		
3	現代社会を取り巻く倫理的問題とは何か：応用倫理学概説		
4	現代社会を取り巻く倫理的問題とは何か：生命倫理学概説		
5	自らの死を選ぶ権利はあるか（1）：安楽死		
6	自らの死を選ぶ権利はあるか（2）：終末期医療		
7	人間の死とは何か：脳死と臓器移植		
8	移植医療の商業化は許されるか：生体臓器移植		
9	映画作品を通じて考える生命倫理（1）		
10	映画作品を通じて考える生命倫理（2）		
11	いのちの始まりはいつからか：人工妊娠中絶		
12	いのちの選択は許されるか：出生前診断		
13	生殖ビジネスといのちの尊厳（1）：人工授精・体外受精		
14	生殖ビジネスといのちの尊厳（2）：代理出産		
15	まとめ		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 心理学	第一看護学科 1 年次 後期 1 単位 (30 時間))
-----------	------------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい

人間の心理と行動を知り、自己を理解して他者を理解する視点を学ぶ。さらに、成長発達に伴う特徴と変化を知り、その個別性について学ぶ。

目 標

- 1) 人間の心理を行動や発達といった種々の視点から学び、目には見えない心の仕組みを論理的に解明するための基礎的知識を理解できる。
- 2) 人間の行動から人の心のありようを推察し、自己及び他者の理解につながる考察をすることができる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	オリエンテーション・概論	講義・演習	
2	感覚・知覚		
3	注意・記憶		
4	学習		
5	感情		
6	動機づけ		
7	知能		
8	パーソナリティ：性格の違いを考える		
9	発達①		
10	発達②：発達障害		
11	社会心理学		
12	ストレス		
13	心理アセスメント		
14	カウンセリングと心理療法		
15	まとめ		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 基礎分野 心理学 医学書院

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 教育学	第一看護学科 3年次 後期 1単位（30時間）
-----------	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい

教育の本質と理念を学び、看護における教育的活動の基礎を学ぶ。生涯教育の必要性について理解し、学び続ける姿勢を身につける。

目 標

- 1) 教育を学ぶことの意義やその歴史を理解し、人間社会における教育の重要性を考えることができる。
- 2) 「学ぶ・教える」という関係性の中で、人間の成長・発達や教育環境の在り方について考えることができる。
- 3) 教育の目的・目標、教授方法や評価について理解できる。
- 4) 生涯教育の意義やその方法について理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備 考
1	人間の成長と教育の意義	講義	
2	看護と教育		
3	学校教育制度		
4	学校教育制度		
5	家庭教育		
6	家庭教育		
7	教育の目的		
8	教育の目的		
9	教育方法		
10	教育方法		
11	教育評価		
12	教育評価		
13	障害者の教育		
14	生涯学習（成人教育・人権教育・多文化教育を含む）		
15	生涯学習（成人教育・人権教育・多文化教育を含む）		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験 等

授業科目名 社会学	第一看護学科 1 年次 後期 1 単位 (30 時間)
-----------	-----------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい

人間の社会の構造や役割、関係等を知り、社会的存在としての人間を多面的に学ぶ。人間として基本的な権利とそれに対する社会的知見を理解する。

目 標

- 1) 個である人が様々な社会集団に帰属し、人々とつながりを持ちながら生きていることを理解できる。
- 2) 家族・親族・種々のコミュニティ・国家・国際社会など、様々な社会集団や集団間の関係を知り、社会的存在としての人間を理解できる。
- 3) 集団や人間社会に通用する価値・規範・制度の体系を学び、社会構造を理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	社会学、看護と社会、社会の定義	講義	
2	社会化、個人を超越した社会		
3	地位と役割、自我形成・役割形成とコミュニケーション		
4	家族社会と家族の機能		
5	近代型家族の変容		
6	地域社会		
7	社会変動		
8	社会と集団、組織		
9	組織のなかの人間労働		
10	大衆社会論		
11	社会問題		
12	人間自己家畜化論、文化の理解、自然観と信仰		
13	ライフサイクルと通過儀礼		
14	人間の死と生命		
15	生について —看護本来のすがた 運は食になり、人との出会いなり		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 基礎分野 社会学 医学書院

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名	コミュニケーション論	第一看護学科 1年次 前期 1単位（15時間）
-------	------------	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい
コミュニケーションの特性・技術を理解し、コミュニケーションの方法・カウンセリングの基本を学ぶ。
目 標
1) コミュニケーションの特徴と社会生活を営む上でのコミュニケーションの重要性を理解できる。
2) コミュニケーションの構成要素と成立過程を理解し、適切なメッセージを伝える方法を知ることができる。
3) コミュニケーションの基本的な方法について学び、それを実践できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	第一印象、交流を作る	講義・演習	
2	一方通行、双方通行のコミュニケーション		
3	コミュニケーションに大切な「イメージネーション」について		
4	集団でのコミュニケーション		
5	コミュニケーションの障害		
6	チームワークとリーダーシップ		
7	ブレインストーミングとコミュニケーション		
8	治療動機を高めるコミュニケーション		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 人間関係論	第一看護学科 2年次 前期 2単位（30時間）
-------------	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい

人間関係を多面的に捉え、自己の他者へのかかわり方を理解し、自己成長することができる。カウンセリング理論と技能を学び、人間の心の機能の理解を深める。

目標

- 1) 人間関係の意義や社会的相互作用について学び、人間理解、対人関係の持ち方、人間関係の構築のあり方について理解できる。
- 2) 対人関係における自己を理解し、良好な対人関係を築くための方法を理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備 考
1	自己理解を深める①	講義・演習	グループワーク
2	自己理解を深める②		
3	他者理解とストローク‘与える・受け取る’①		
4	他者理解とストローク‘与える・受け取る’②		
5	フィードバックは‘成長の鏡’①		
6	フィードバックは‘成長の鏡’②		
7	チームワークを作る：リーダーシップと機能的なワーキンググループ①		
8	チームワークを作る：リーダーシップと機能的なワーキンググループ②		
9	チームワークを作る：リーダーシップと機能的なワーキンググループ③		
10	‘話し合い’の力：コンセンサスとアサーション①		
11	‘話し合い’の力：コンセンサスとアサーション②		
12	カウンセリングというききかた①		
13	カウンセリングというききかた②		
14	カウンセリング実践①		
15	カウンセリング実践②		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 スポーツ理論	第一看護学科 1年次 前期 2単位（30時間）
--------------	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい

スポーツの理論と実践を通して、人間の心身の相関や協調性、主体性を学ぶ。

目 標

- 1) 運動やスポーツの意義や特性を理解し、健康に生活するために必要な体力づくりの必要性や方法を理解できる。
- 2) スポーツを通して、体の動かし方や動きの構造、安全に運動する方法などを知り、実践できる。
- 3) スポーツを通して、フェアプレーの精神や協力・責任といった態度を身につけることができる。
- 4) スポーツ実施時のけがや障害の予防法や対処法が理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1・2	オリエンテーション、ウォークラリー	演習	
3	バレーボール・体力測定		
4・5	卓球・バドミントン①②		
6	バスケットボール・運動強度		
7	レクリエーション講義①ドッジボール	講義・演習	
8	レクリエーション講義②フットサル		
9	ソフトバレー	演習	
10	カバディ		
11・12	レクリエーション実践①②		
13	講義（エネルギー代謝のしくみ・運動強度・METS）	講義	
14	講義（応急処置・テーピング）		
15	エアロビクス	演習	

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 英会話	第一看護学科 1 年次 後期 2 単位 (30 時間)
-----------	-----------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい

国際化に対応するために、演習を通して看護場面での実践力をつける。

目 標

- 1) 主な看護場面で行われる看護師との会話を想定したコミュニケーションをとることができる。
- 2) 外国人との対話場面を通して、生活様式や価値観の違いを知り、対応の仕方を理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	Meeting a New Patient	講義・演習	
2	Talking about Symptoms		
3	In-Patient Orientation		
4	Doing the Rounds		
5	Explaining Medication: Part 1		
6	Explaining Medication: Part 2		
7	More Symptoms		
8	Review		
9	Accidents & Injuries		
10	Patient Examination		
11	Taking a Medical History		
12	Lifestyle & Diet		
13	Explaining Hospital Tests		
14	Review		
15	Test Explanation & Practice		

III. 使用テキスト・参考文献

Bedside Manner Beginner (S.Capper) Perceptia Press

IV. 成績評価の方法

中間テスト・期末試験